

★胴長15~20センチほどのスルメイカを「ムギイカ」と呼ぶ

駿河湾沼津江浦港出船

沼津、初夏の風物詩 夜ムギイカ盛期突入!

撮影●鈴木良和



▲ポイントは沼津沖の水深100メートル前後



▲タナは中層から海面まで広く探る
▼ツノは布巻きウキisset 2.5号かプラツノ11センチ、オモリは80号を基準に速潮時は100号を使用。水中ライトも忘れずに

▲当日は布巻きisset仕掛けの人が大半だった



▲活性が高まりイカが上ると海面から10~20メートルほどの浅ダナで入れ乗りになることも
▲小さくても乗りは明確



▲駿河湾のイカ釣り定番の魚型プラツノもよく乗った



▶小さくても潮鉄砲の噴射力は強烈



▲数狙いなら直結仕掛けが有利
▲スルメ級もポツポツ交じる



▲日中は汗ばむ陽気でも、夜はまだ冷え込むので防寒対策は万全に!
▲身が軟らかく甘みのあるムギイカはこの時期限定の味覚

(詳細は56ページ参照)

沼津名物・ムギイカの夜釣りが好期に突入。4年ぶりに1束超えの朗報も届き当たり年となりそうな勢いだ。アンカーで船を固定し、集魚灯で船下にイカを寄せて釣るスタイルだけに、タナは浅く、手返しもマイペースでOK。好日に当たればビギナーでも入れ乗りが味わる。

今号発売のころはイカの乗りが上向く闇夜回りのビッグチャンス。最盛期は梅雨入りごろまでと短いので釣行はお早めに!



●駿河湾沼津江浦港・伊勝丸
伊海 幹雄船長